

石山・芸術の森地域 **芸術の森部会 ニュース**

石山・芸術の森地域では、平成26年度に「石山・芸術の森地域学校規模適正化検討委員会」を設置し、それ以降、地域の4小学校を対象に学校規模適正化についての検討を進めてきました。また、平成27年度からは「部会制」を導入し、「石山部会（石山小学校・石山南小学校）」と「芸術の森部会（常盤小学校・石山東小学校）」に分かれて、より具体的な検討を進めています。

～ このニュースはまちづくりセンターや児童会館、学校でも配布しています ～

第5回芸術の森部会 について

6月6日（月）午後6時から、芸術の森地区会館（芸術の森地区まちづくりセンター）で第5回芸術の森部会を開催し、意見書の手交式に関する報告や、今後の検討スケジュール、ときわスポーツコミュニティ広場の測量業務について検討を行いました。

意見書の手交式 について

芸術の森地区ではこれまで約2年にわたり学校規模の適正化について検討を行ってきました。

これらの検討内容を取りまとめ、平成28年2月に、芸術の森部会の部会長である鈴木委員から、教育委員会の長岡教育長へ意見書を提出しました。



意見書を手渡す鈴木部会長（右）と受け取る長岡教育長（左）

<意見書の概要>

- 常盤小学校と石山東小学校を再編し「ときわスポーツコミュニティ広場」に新たな学校を設置すること。
- 新設校の小中一貫校化について前向きに検討すること。
- 学校施設の建設についても可能な限り速やかに着工すること。
- バス事業者との協議等、児童が安全・円滑に通学できるよう十分配慮すること。
- 新設校の校名や現在の両小学校の跡活用については引き続き検討を行うこと。

（補足）意見書の内容は、平成28年第4回教育委員会会議で報告され、教育委員会としても、今後、意見書の趣旨を最大限尊重のうえ取組を進める旨が確認されています。

常盤小学校、石山東 小学校の概況につ いて（報告）

事務局から今年度の両小学校児童数等について報告がありました。

学校名		常盤小学校		石山東小学校	
年度		27年度	28年度	27年度	28年度
児童数 ・学級数 ・教職員数	1年	40名/2学級	64名/2学級	18名/1学級	24名/1学級
	2年	70名/2学級	40名/2学級	13名/1学級	18名/1学級
	3年	49名/2学級	71名/2学級	11名/1学級	15名/1学級
	4年	47名/2学級	49名/2学級	25名/1学級	12名/1学級
	5年	55名/2学級	48名/2学級	16名/1学級	24名/1学級
	6年	49名/2学級	55名/2学級	25名/1学級	16名/1学級
	小計	310名/12学級	327名/12学級	108名/6学級	109名/6学級
	特別支援学級	8名/2学級	7名/2学級	-	-
	教職員数	22名	22名	14名	14名

今年度の検討スケジ ュールについて

事務局から今年度の検討スケジュール案について説明がありました。

< 主な内容 >

- 全4回（6月・9月・11月・2月）の開催を想定
- 予算要求が認められた場合は、新設校の開校時期等を決定のうえ、年度末（3月頃）に地域説明会の開催も想定

開催時期	想定議題
6月（第5回部会）	・検討スケジュールについて ・ときわスポーツコミュニティ広場の測量について
9月（第6回部会）	・測量業務の結果報告について ・学校施設の複合化について ・跡活用の検討方法について
11月（第7回部会）	・予算要求の状況について ・跡活用の検討について
2月（第8回部会）	・予算要求の状況について ・跡活用の検討について

※ 開催時期や議題等は今後変更となる可能性があります。

ときわスポーツコ ミュニティ広場の 測量業務について

事務局から新設校予定地である「ときわスポーツコミュニティ広場」の測量業務について説明がありました。

< 測量の目的 >

同広場における学校建設の適否や施設配置等の検討に必要なため。

< 作業の概要 >

【測量業者】(株) 道測テクニス（連絡先：011-751-5172）

【作業期間】 6月13日（月）～7月15日（金）午前8時～午後6時
（ただし、グラウンド内の作業は平日午前8時～午後1時）

【周知方法】 近隣世帯へは個別にお知らせ文を配布

少年団へは常盤地区体育振興会を通じて連絡

【その他】 重機の使用は想定しておらず、騒音・振動はほぼ発生しません。

委員から寄せられた意見など

◆児童数等の状況について

第5回部会では、委員から以下のようなご質問、ご意見がありました。

- 常盤小は昨年に比べて児童数が増えているが、今後の見通しはどうか。
(事務局回答)
現在の推計では来年度には15名程減少する見込みです。その後も年によって多少の増減がありますが、長期的には減少傾向です。
- 真駒内アートパークタウン町内会等では若い世代が転入し、子どもが増えている印象がある。一方で、芸術の森地区全体でみた場合、ほとんどの町内会で人口が減っているという状況もある。

◆測量について

- 近隣世帯だけではなく、少なくとも真駒内アートパークタウン町内会の各世帯へは周知すべきだと思う。周知は町内会で行うことも可能だが、早めに情報がこないと対応困難な場合もある。
(事務局回答)
ご連絡が遅れて申し訳ありません。今後は速やかな連絡に努めます。
- 若い世帯は日中不在のことも多い。近隣世帯への周知はポスティングが基本とは思いますが、なるべく口頭で直接説明を行ってほしい。
(事務局回答)
測量業者とも調整し、直接ご説明をするように努めます。

◆検討部会の進め方等について

- この部会は学校の統合や新設を前提として検討するのか。
(事務局回答)
これまでの検討で「ときわスポーツコミュニティ広場」に統合校を新設する方向性が出ていますので、これを前提に検討したいと考えています。
- 仮に予算が認められなかった場合、話の前提が崩れるのではないかと。そうであれば両小学校の跡活用を検討しても無意味ではないか。
- 予算や小中一貫校化の問題は、地域からの働きかけも重要。そのために意見書を教育委員会に提出している。予算を通すためには今後も地域としてアプローチは続けていくべきだと思う。また事務局でも予算確保に向けて全力で取り組んでほしい。
- 建設予定地は高低差があるからこそ高い所に建てることで見晴らしの良い校舎が出来上がると思う。災害時にもメリットがあると思う。
(事務局回答)
高い所に建てるで見晴らし等のメリットはありますが、国道からの上り坂が長くなることや、日影がしやすいというデメリットもあります。施設の配置については様々な要素を検討して決定したいと考えています。
- 子どもたちやこれからの人たちのために我々が何をすべきかを、未来志向で検討をしていくべきだ。
- これまでの検討は分かるが、当事者の父母には統合に反対の人もいるし、正直他人事のように感じている人もいると思う。少人数のメリットも確かにあると思うので、幅広く意見を聞くことは重要だと思う。
- この地域も少子高齢化が進んでいる。若い夫婦にこの街に家を構えてもらうためにはどうしたら良いかを真剣に考えるべきだと思う。

決定事項

以上の検討から、第5回芸術の森部会では以下を確認しました。

- 6～7月にかけて「ときわスポーツコミュニティ広場」の測量を行うこととし、調査結果等は次回部会で報告する。
- 今年度の部会では、学校新設に係る予算要求の状況等を見据えながら、両小学校の跡活用や新設校の施設複合化等について意見交換を進める。

第6回の芸術の森部会について

第6回の芸術の森部会は、測量の結果報告や学校を新設する際の施設複合化等を議題とし、9月ごろの開催を予定しています。

今年度の委員一覧 (五十音順・敬称略)

今年度の芸術の森部会は、芸術の森地区連合会から6名、常盤小学校と石山東小学校のPTAから各2名に学校長(2名)と有識者(2名)を加え、以下の14名で運営していきます。

大野 勝	芸術の森地区連合会	企画部長	
大室 道夫	幌西小学校	校長	(統合経験者)
小笠原 由利子	石山東小学校PTA	副会長	
熊谷 伸顕	芸術の森地区連合会	体育副部長	
熊谷 恵信	常盤小学校PTA	会長	
齋藤 公博	芸術の森地区連合会	副会長	
佐久間 久幸	芸術の森地区連合会	会計部長	
正源 初恵	芸術の森地区連合会	まちづくりセンター	
鈴木 久夫	芸術の森地区連合会	会長	※部会長
田中 修	石山東小学校	校長	
中野 吉朗	常盤小学校PTA	副会長	
藤島 健志	常盤小学校	校長	
船田 幸治	石山東小学校PTA	会長	
北嶋 雅見	道銀地域総合研究所	業務部長	※司会委員

■ ご意見・ご質問は、下記の検討委員会事務局までお寄せください ■

石山・芸術の森地域 学校規模適正化検討委員会 事務局

札幌市教育委員会 生涯学習部 学校施設課 (学校規模適正化担当)

〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目 S T V北2条ビル

T E L 011-211-3836 / F A X 011-211-3837

E-mail gakkokibo@city.sapporo.jp

※ この検討委員会ニュースは、札幌市教育委員会ホームページにも掲載します。

<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/kentoutiiki.html>